

仕事の留意点メモ

H22.4.1 橋本

1 書類の整理 ~ 必要な時にすぐ出てこない資料は無いのと同じ

- 定期的に見直し節目節目に意識的に捨てる
 - ・ 引き継いだ資料の3分の1は3か月以内に捨てられるはず。年度中途には捨てられないが、完結後には最終バージョンがあればいいはず。
- 書類は項目別に管理
 - ・ 書類は、インデックスや付箋をつけて項目別に整理。あまり細かい整理をめざすと続かない。大きな分類と「その他」を作っておいて、順次細分化。
 - ・ 打合せメモも、1枚ずつのレポート用紙等の利用がおすすめ。
- 仕事の書類は共有財産
 - ・ ファイリングキャビネットと書類ロッカーは共有のもの。自分の不在時にも分かるようにしておく。
- 机の上はいつもきれいに
 - ・ 一度にできる仕事は一つだけ。あれこれ机の上に積み上げて悩むよりも、一つずつ順序良くこなしていく。

2 資料作成 ~ 端整で信頼感を与える資料づくり

- スタイルの統一
 - ・ 文書は、余白は上下左右25mm，本文12ポイント，表題14ポイント，行間は1行が基本。表の中の文字は少し大きく見えるので，1サイズ小さく。
- 余白の美
 - ・ 冗長な印象を与えないために，余白・行間を工夫して，メリハリのある資料を作る。余白が内容を浮き上がらせる。特にタイトル周辺に余白を作る。
- 資料に小見出しを
 - ・ 長文資料は，区切り毎に内容が一言で分かる小見出し等の工夫。5行以上は小見出しを検討。頭の整理になり文書の流れが見えてくる。
- 必要十分で隙のないしまりのある文章
 - ・ だらだら冗長な文章にしない。必要な情報が過不足なく盛り込まれた簡潔な文章をめざす。一文字でも多く削れないか，厳しく見直す。
- 読点の付け方に意識的な工夫を
 - ・ 内容の意味のまとまりを良く考えて，相手に理解しやすい読点の打ち方を工夫。長い言葉と短い言葉の並列は，長い方が先。

3 仕事の進め方 ~ 集中力とメリハリ，効率化の工夫

(1) 効率化，基本姿勢

- 長い目で見た効率化
 - ・ 前任者が10の力でやっていた仕事は，当初15の手間がかかっても，2年目からは5以下の力でやれるよう，効率化を工夫。
- 道づくりの意識
 - ・ 目的地(やること)がはっきりしているのに，ジャングルを4WDで上手に走れることを自慢するような仕事のやり方をしない。木を切り，切り株を掘り起こし，道をならして舗装すれば誰でも片手で運転できる。

- **行動はタイミング**
 - ・ タイミングを逸すれば、後で何倍もの仕事量が必要となることがある。優先順位を考えタイミング良く行動。気になることを放置せずまず着手。
- **ためらい時間を無くす**
 - ・ 実際の仕事に取りかかる前にあれこれ思い悩み先送りする「ためらい時間」を減らす。
- **相手の懐に**
 - ・ できるだけ相手の所に出かけて行って話をする。その方が、相手がリラックスし中身のある話が聞ける。

(2) マナー、勤務関係

- **挨拶が基本**
 - ・ 声を出して挨拶。以心伝心ではなく、言葉にしなければ伝わらない。
- **正確で信頼できる仕事**
 - ・ 文章は必ず読み返して誤字脱字等をチェック。大事な数字は必ずダブルチェック。
- **首尾一貫した敬語の使用**
 - ・ 「恐れ入りますが、・・・してもらえますか。」などという中途半端な敬語を使わない。意識的な努力を。
- **年休はまとめて長期に、時間外勤務は必然性を考えて**
 - ・ 年休の取り方は個人の自由だが、気分や視点を変えるために、連続休暇がおすすめ。緊張感と集中力・密度を高めて、時間外勤務を減らす。

4 考え方について ~自分が発案して新たな何かを実現する

- **自分が何を変え、何を加えたか**
 - ・ 組織としての仕事の継続性の中で、自分の役割を考える。自分から提案して、風圧に耐えて、変化を生み出す。
- **半歩フライングの感覚で。**
 - ・ 1歩先では浮き上がり、皆と同じでは進歩がない。背伸びし過ぎれば足をすくわれ、へたり込めば進まない。時には、強引マイウェイも。
- **3点セット（未来、現在、過去）での議論**
 - ・ 何をめざしているのかという将来ビジョン、そのためこれまで何をしてきたかという過去の実績、現在何に取り組んでいるかの3点をセットで語る。
- **箱庭の完璧主義に陥らない**
 - ・ 箱庭の中を隅々まできれいに掃き清めるが、その外のことは知らないという保守的な姿勢にならないように自省。
- **内弁慶にならない**
 - ・ 県庁の常識に終わらない。社会で通用する発想と努力と行動。県庁外の人と同じ土俵で対等に議論できること。
- **肩の力を抜き、必然性を大切に**
 - ・ 肩の力を抜いてまず行動。良い企画は、必然性の把握から。しなやかにしたたかに懸命に。逃げずに責任感を持って頑張る者に信頼が集まる。
- **仕事の能力もスポーツと同じ**
 - ・ 普段から負荷のかかる意識的な取り組みをしていないと、筋力・瞬発力・センスは身につかない。